

## 安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2024/03/01

## 1. 製品及び会社情報

製品名:	試薬特級塩化カリウム 日本薬局方【製造専用】塩化カリウム 高杉一級塩化カリウム 食品添加物塩化カリウム
会社名:	高杉製薬株式会社
住所:	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号:	092-621-1231
FAX番号:	092-621-6269
推奨用途:	一般工業用途、食品製造用途、医薬品等原料
使用上の制限:	推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類:	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2B <H320>
GHSラベル要素 絵表示又はシンボル:	該当なし
注意喚起語:	警告
危険有害性情報:	H320 眼刺激
注意書き:	[安全対策] P264 取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。<H320> [応急措置] P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。<H320> P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。<H320> [保管] Pコード該当なし [廃棄] Pコード該当なし (推奨)内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄する。
他の危険有害性:	眼、皮膚、粘膜及び気道を刺激する。 大量に経口摂取すると、消化器の刺激、下痢、脱力感及び循環器系統の障害を起こす。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:	単一製品
化学名又は一般名:	塩化カリウム
化学式又は構造式:	KCl
分子量:	74.55
濃度又は濃度範囲:	塩化カリウム $\geq$ 99.0 %
CAS 登録番号(CAS RN®):	7447-40-7
官報公示整理番号:	化審法(1)-228/安衛法 既存
危険有害成分:	特になし

## 4. 応急措置

吸入した場合:	新鮮な空気のある場所に移動し、必要に応じて医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合:	すぐに多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

眼に入った場合:	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診察を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状:	データなし
最も重要な兆候及び症状:	データなし
応急措置をする者の保護:	個人用保護具を着用すること。
医師に対する特別注意事項:	データなし

## 5. 火災時の措置

消火剤:	周辺の状況に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤:	情報なし
火災時の特有危険有害性:	熱分解により刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消火方法:	周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全の行える場合に限り火災場所から搬出する。移動が不可能な場合には、容器に注水して冷却する。
消火を行う者の保護:	火災の状況に応じた保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置:	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止措置及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	粉じんの発生を避ける。
封じ込め及び浄化方法・機材:	粉じんが飛散しない方法で可能な限り回収した後、汚染箇所を洗浄する。 漏えい物には異物等が混入している可能性があるため元の容器に戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。
二次災害の防止策:	屋内で漏えいした場合には、回収作業中と作業後に換気する。 環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	強酸化剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。
注意事項:	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉じんや蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い注意事項:	皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。
保管	
保管条件:	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料:	ポリエチレン
混触禁止物質:	情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会:	設定されていない
米国産業衛生専門家会議(ACGIH):	設定されていない
設備対策:	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸器の保護具:	防塵用マスク

手の保護具:	保護手袋
眼の保護具:	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は安全保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具:	長袖作業衣
適切な安全対策:	産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状:	結晶～結晶性粉末
色:	無色又は白色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし
pH:	5.0～8.0(50 g/L, 25°C)
融点・凝固点:	773 ～ 776 °C
沸点、初留点及び沸騰範囲:	1,500 °C
引火点:	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
比重(密度):	1.98
溶解度	
水に対する溶解性:	27.6 g/100 g(0 °C)、56.7 g/100 g(100 °C)
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
粘度(粘性率):	データなし
粒子特性:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性:	正常な状態で保管している場合には安定である。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温と直射日光
混触危険物質:	硫酸+過マンガン酸カリウム又は三フッ化臭素と爆発的に反応する。
危険有害な分解生成物:	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	
経口:	ラット LD <sub>50</sub> : 2600 mg/kg (RTECS)
経皮:	データなし
吸入(ガス):	GHSの定義における固体。
吸入(蒸気):	データなし
吸入(粉じん):	データなし
皮膚・眼への刺激性:	ウサギの眼に対し軽度の刺激性を有し、眼・皮膚・粘膜及び気道を刺激する。
呼吸器感受性又は皮膚感受性:	データなし
変異原性:	染色体異常試験:陰性
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
誤えん有害性:	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性:	オオミジンコ EC <sub>50</sub> : 95.3-170.7 mg/L/48hr
水生環境有害性(長期間):	データなし
残留性/分解性:	データなし

生体蓄積性:	データなし
オゾン層破壊物質:	当該物質はモントリオール議定書の附属書に記載されていない。
他の有害影響:	データなし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装:	使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	該当しない
品名(国連輸送名):	該当しない
国連分類:	該当しない
容器等級:	該当しない
海洋汚染物質:	該当しない
国内規制	
陸上輸送情報:	該当しない
海上輸送情報:	該当しない
航空輸送情報:	該当しない
緊急時応急措置指針番号:	該当しない
特別な安全対策:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

### 15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当しない
消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法:	該当しない
大気汚染防止法:	該当しない
土壌汚染対策法:	該当しない
水質汚濁防止法:	該当しない
海洋汚染防止法:	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表1)
船舶安全法:	該当しない
航空法:	該当しない
道路法:	該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法):	該当しない
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS3104.20】
食品衛生法:	食品添加物品のみ適用(指定添加物)
医薬品医療機器等法:	医薬品のみ適用

### 16. その他の情報

参考文献:	
1. 化学大辞典 共立出版(1993)	
2. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2008)	
3. GHS分類集(I)(II):(社)日本化学物質安全情報センター	
4. SIDS:OECD	
6. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)	

改訂情報:  
旧版(2023年6月1日付け)からの改訂点は、「1.製品及び会社情報」への「推奨用途」「使用上の制限」の追加である。

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。